

## 環境学習会の報告

2020年1月14日（火）9時30分から11時まで、フォーマザー西立野保育園で0歳児を含めた園児約90名と教職員の方々と一緒に環境学習会を開催しました。

初めに、ホッキョクグマの親子が楽しく遊んでいる写真、小さな氷の塊に載って寂しそうにしているホッキョクグマの写真、餌が取れずにやせているクマの写真を見ながら、地球温暖化で氷が少なくなってクマたちが生活しにくくなっていると、地球温暖化に関心を持ってもらうところから、環境学習会が始まりました。



次は、メラニー・ウォルシュ作 絵本「わたしがぼくが、ちきゅうのためにできる10のこと」の絵本の読み聞かせです。

「人のいない部屋の電気は？」「消す。」「水道は流しっぱなしに？」「しない。」と、「ゴミは分別して出す。」「書くときは紙の表も裏も使う。」「テレビは見終わったら消す。」など、園児のみなさんは、絵本のページをめくるごとに自分のこととして、絵本にある地球を守るための10の大切なことを体験しました。



読み聞かせの後は、アオギリ、ユリノキ、ボダイジュユリノキ、ヒマラヤスギなどの木々の種を高く投げ上げて、回転して落ちてくる様子をみんなで楽しみました。





種がクルクル回るのを見て楽しんだ後はトイレ休憩となり、川口市民環境会議のマスコット「地球くん」が登場しました。子どもたちはその登場にびっくり。子どもたちと地球くんは少しの時間、楽しく遊びました。

次の工作を始める前に、トトロの音楽に合わせてみんなで楽しく体操をしました。



その後、手作りおもちゃの第2弾、不要品利用のおもちゃ作りとして、短冊状の紙を使って上に投げてクルクルと回転して落ちてくる飛行体を作りました。まず、用意した短冊に好きな絵や色塗りやシールを貼り、先生やスタッフがはさみで切り込みを入れ、お魚状の輪を作ります。



その輪っかを園児たちが高く放り投げると、クルクルと回転しながらゆっくり落ちてきました。何回も投げて、クルクル落ちてくるのを楽しむ園児たちでした。



この後、子どもたち全員が屋上に上って、太陽光発電のパネルを見学し電気がこのパネルで作られていることを学びました。また、玄関の前にある発電表示板を見ながら、保育園の先生からパネルが発電している時はこの表示板のランプがつくことや太陽が沈むとランプがつかなくなることなどの説明を園児たちは真剣に聞いていました。



#### 追伸

別添の「ちきゅうおんだんかのおはなし」のチラシ（A4表裏白黒印刷の1枚）を作成し、園児のみなさんが家庭に帰って、今日のお話をお父さん、お母さんと出来るように、園長先生から配付していただきました。

以上